

第 15 回せんがわ劇場演劇コンクール レギュレーション

2025 年 2 月 25 日 説明会後修正済み

【1】第 15 回せんがわ劇場演劇コンクール概要

1 実施目的

調布市せんがわ劇場は、平成 20 年（2008）年に開館した調布市の公立劇場です。本コンクールは、せんがわ劇場のミッション「次世代を担う実演家の育成」の達成のために実施しています。

コンセプトは「出会い」です。批評の言葉、観客、アーティスト同士など、さまざまな出会いを提供し、従来のコンクール以上のコミュニケーションを目指しています。

本コンクールではとりわけ、批評の言葉を大切にしています。全専門審査員がコンクール出場団体へ直接講評し、その後講評をもとにしたディスカッションを、公募審査員を交えて行います。専門審査員の講評は後日、劇場ホームページに掲載します。

本コンクールは、単に優劣を競うだけではなく、せんがわ劇場における舞台芸術活動者の育成支援の出発点と位置づけています。

2 事業内容

【名 称】 第 15 回せんがわ劇場演劇コンクール

【日 程】 令和 7 年（2025 年）

5 月 24 日（土）1 日目 3 団体上演

5 月 25 日（日）2 日目 2 団体上演、表彰式、アフターディスカッション

【会 場】 調布市せんがわ劇場

【主 催】 公益財団法人 調布市文化・コミュニティ振興財団

【入場料】 有料（P12 を参照）

【コンクール出場団体】 ※五十音順

- (1) お寿司
- (2) 劇団不労社
- (3) 7 度
- (4) よた
- (5) 老若男女未来学園

* 継続的に舞台芸術活動をしている団体（過去 3 回以上の上演を 5 年以内に行っていること）を募集。

書類・映像による一次審査・二次審査を経て 5 団体を選出する。

コンクールでは各団体が 1 公演ずつ行い、専門審査員、公募審査員、全公演を鑑賞した観客が審査を行う。

◆上演補助金

コンクール出場 5 団体へそれぞれ 5 万円を支給する。
(観客によるチケット代およびコンクールへの支援金から支出)

3 賞

【グランプリ】 専門審査員の審議により 1 団体を決定します。

- 表彰状の授与
- 2026 年 6 月 1 日(月)～6 月 7 日(日)の 1 週間劇場ホール使用权 (付帯設備込) を贈呈
- 受賞コメントを劇場ホームページに掲載
- 受賞公演の広報、チケット販売を支援

【オーディエンス賞】 公募審査員と、全公演を鑑賞した観客の投票により 1 団体を決定します。

- 表彰状の授与
- 2026 年 5 月 29 日(金)～5 月 31 日(日)の 3 日間劇場ホール使用权 (付帯設備費込) を贈呈
- 受賞コメントを劇場ホームページに掲載
- 受賞公演の広報、チケット販売を支援

【個人賞 (劇作家賞・演出家賞・俳優賞)】 専門審査員の審議により 1 名ずつ決定します。

- 表彰状の授与
- 受賞コメントを劇場ホームページに掲載

※グランプリ、オーディエンス賞、個人賞は「該当なし」の場合あり

コンクール後の活躍の場

せんがわ劇場の演劇事業への参加

多くのコンクール出場者が、DEL (※) に加入し、演劇アウトリーチ活動や主催公演など、せんがわ劇場の演劇事業に参加しています。

※DEL(デル)とは

せんがわ劇場の公演やワークショップ、演劇アウトリーチに携わるアーティストのグループです。

せんがわ劇場が独自に始めたシステムで、せんがわ劇場演劇コンクール出場者を中心にメンバーを構成しています。

以前はドラマ・エデュケーション・ラボ (Drama Education Lab) の略称で、調布市内の演劇アウトリーチを担う講師陣のことでしたが、劇場プロデュース公演の企画・運営や出演など活動域を広げています。

4 審査員

【専門審査員】 ※五十音順 敬称略

生田 みゆき いくた みゆき (演出家)

文学座演出部所属、演劇ユニット「理性的な変人たち」メンバー。2016年、ドイツ文化センターの文化プログラムの語学奨学金（芸術分野対象）を得てドイツに滞在。演劇の現場のみならず、オペラ作品の経験も多い。

近年の演出作品に『建築家とアッシリア皇帝』、パレスチナ演劇上演シリーズ『占領の囚人たち』、『アナトミー・オブ・ア・スーサイドー死と生を巡る重奏曲ー』、『海戦 2023』、『屠殺人ブッチャー』など。第31回読売演劇大賞優秀演出家賞、令和5年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。

松尾 貴史 まつお たかし (俳優)

1960年5月11日生まれ 兵庫県出身。俳優、タレント、ナレーター、コラムニストなど幅広い分野で活躍。下北沢のカレー店「般 若」(ぱんにゃ)店主。2019年には舞台『ザ・空気 ver.2 誰も書いてはならぬ』で第26回読売演劇大賞優秀男優賞、21年『鴉外の怪談』で第29回読売演劇大賞優秀男優賞と第56回紀伊國屋演劇賞個人賞を受賞。近年の主な出演作に、【舞台】『斑鳩の王子ー戯史 聖徳太子伝ー』『ダブリンの鐘つきカビ人間』『裸足で散歩』(24)、『桜の園』(23)【ドラマ】『RoOT/ルート』(TX)など。

山田 由梨 やまだ ゆり (作家・演出家・俳優)

1992年東京生まれ。立教大学在学中に「贅沢貧乏」を旗揚げ。演劇作品の作・演出、小説執筆、ドラマ脚本・監督を手がける。『フィクション・シティー』(17年)、『ミクスチュア』(19年)で岸田國士戯曲賞最終候補にノミネート。セゾン文化財団セゾンフェロー。21年、23年にはかながわ短編演劇アワード県内高校生選抜大会審査員を務める。

主な担当ドラマに、NHK夜ドラ「作りたい女と食べたい女」脚本、ABEMA「17.3 about a sex」脚本、WOWOWオリジナルドラマ「にんげんこわい」シリーズ 脚本・監督など多数。

【せんがわ劇場演劇コンクール企画監修／専門審査員】

徳永 京子 とくなが きょうこ (演劇ジャーナリスト)

雑誌、ウェブ、公演パンフレットなどにインタビューや作品解説、朝日新聞首都圏版に劇評を執筆。ローソンチケット演劇専門サイト『演劇最強論-ing』企画・監修・執筆。act guide (東京ニュース通信社)にて「俳優の中」、季刊エスにて「演劇3rd EYE」連載中。東京芸術劇場企画運営委員。読売演劇大賞選考委員。緊急事態舞台芸術ネットワーク理事。著書に『我らに光を——さいたまゴールド・シアター 蜷川幸雄と高齢者俳優41人の挑戦』、『演劇最強論』(藤原ちからと共著)、『「演劇の街」をつくった男——本多一夫と下北沢』。

【せんがわ劇場芸術監督／専門審査員】

小笠原 響 おがさわら きょう（演出家）

新劇や都内プロデュース公演等で横断的に演出を手掛ける。日本芸術文化振興会の演劇分野プログラムオフィサーを務めた経験から、近年は首都圏の劇場を拠点として、地域の演劇振興にも関わる。2018年、2024年に読売演劇大賞優秀演出家賞受賞。2024年4月調布市せんがわ劇場の芸術監督に就任。10月に監督演出公演『ドクターズジレンマ』の演出を手掛ける。近年の主な演出作品は『善人たち』（劇団民藝）、『正義の人びと』（劇団俳優座）、『The Weir－堰－』（劇団昴）、『聖なる炎』（俳優座劇場プロデュース）、『ジン・ゲーム』（加藤健一事務所）、『屠殺人ブッチャー』名取事務所、千葉市民創作ミュージカル『千年天女』ほか。

【公募審査員】

広く一般からの応募者。調布市民・初参加者を優先（定員15名）

【一次審査員】※五十音順・敬称略

- ・大原 渉平（演出家／劇作家／劇団しようよ代表・第6回ファイナリスト）
- ・河井 朗（演出家／ルサンチカ主宰・第10回ファイナリスト）
- ・久野那美（劇作家／演出家／〇〇の階代表・第12回ファイナリスト）
- ・公社流体力学 a.k.a.太田日曜（パフォーマー／演出家／劇作家／公社流体力学主宰・第10回ファイナリスト）
- ・小林真梨恵（振付家／演出家／ダンサー／waqu:iraz代表・第8回ファイナリスト）
- ・星 善之（演出家／パフォーマー／ほしぶろ主宰・第12回ファイナリスト）
- ・宮崎玲奈（劇作家／演出家／俳優／ムニ主宰・第11回ファイナリスト）
- ・山下 由（劇作家／演出家／Pityman 主宰・第8回ファイナリスト）

5 スタッフ

■舞台

【総合舞台監督】 廣瀬正仁

【照明監修】 関 定己

【舞台監督助手】 星 善之

【劇場舞台技術スタッフ】 東京舞台照明

■制作

【主催】 公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団

【せんがわ劇場芸術監督】 小笠原 響

【せんがわ劇場外部アドバイザー】 徳永京子

【せんがわ劇場演劇ディレクター】 佐川大輔(チーフディレクター)、柏木俊彦、栗原秀一、櫻井拓見

【演劇コンクール運営】 櫻井拓見、深堀絵梨

【団体担当】 一宮周平、大原渉平、小林真梨恵、宮崎玲奈、山下 由

【制作助手】 遠藤七海

【2】 スケジュール

<p>2月25日(火) 13:00~17:00 会場：調布市せんがわ劇場ホール</p>	<p>参加団体説明会 ≪参加必須≫ 1名以上。 上演順を決定するため、責任者は参加すること。</p>
<p>3月19日(水)</p>	<p>チケット発売：5団体通しチケット (ちょうふアートプラス会員、応援チケット2種)</p>
<p>3月26日(水)</p>	<p>チケット発売：5団体通しチケット(一般)</p>
<p>4月17日(木)</p>	<p>チケット発売：1団体チケット(会員)</p>
<p>4月24日(木)</p>	<p>チケット発売：1団体チケット(一般)</p>
<p>5月7日(水) ※必着</p>	<p>舞台資料・制作資料の提出締切日 メール件名:【演劇コンクール団体資料】団体名 ・⑫舞台打ち合わせ用データシート ・⑬テクリハタイムテーブル ・⑭制作確認シート ・舞台・音響・照明仕込み図 (⑤、⑦、⑩を使用するか、代替の図面) ・上演台本 ・通し稽古の動画(作品全体がわかるものをYouTubeにして送付)</p>
<p>5月15日(木) 13:00~ 会場：調布市せんがわ劇場ホール</p> <p>↓各オンライン(ZOOM)参加のQRコード</p>	<p>■最終打ち合わせ(各団体30分) 【13:00~13:30】よた 【13:40~14:10】老若男女未来学園 【14:20~14:50】7度 【15:00~15:30】劇団不労社 【15:40~16:10】お寿司 ≪参加必須≫代表者、舞台監督 ≪要参加≫照明、音響 ※照明、音響が不参加の場合は、代表及び舞台監督の方が各セッションのプランを確実に把握していること</p> <p>■DEL説明会 会場：せんがわ劇場2階MTスペース またはオンライン 第1部【15:00~16:00】よた、老若男女未来学園、7度 第2部【16:20~17:20】劇団不労社、お寿司</p>

<p>ZOOM URL 最終打合せ</p> 	<p>ZOOM URL DEL 説明会第 1 部</p> 	<p>ZOOM URL DEL 説明会第 2 部</p> 
<p>5 月 21 日（水）、22 日（木） いずれか 1 日</p>	<p>■テクニカルリハーサル 時間：各団体 3 時間 15 分。スケジュールを参照 ・<u>通し必須</u>。客入れ状態から終演までのチェックを行うこと ・最後の 15 分で劇場サイドとの最終確認調整（フィードバック）を行う</p>	
<p>5 月 23 日（金）終日</p>	<p>■ゲネプロ ・実際の制限時間通りに行く ・財団職員、コンクールスタッフ、コンクール出場団体、DEL メンバーに公開する ・劇場の記録用スチール撮影あり</p>	
<p>5 月 24 日（土）終日</p>	<p>■コンクール 1 日目 3 団体の上演 13:30～ よた 15:00～ 老若男女未来学園 16:30～ 7 度</p>	
<p>5 月 25 日（日）終日</p>	<p>■コンクール 2 日目 2 団体の上演 11:30～ 劇団不労社 13:00～ お寿司</p> <p>■表彰式、審査員講評 YouTube でライブ配信する</p> <p>■アフターディスカッション ※表彰式、アフターディスカッションには代表者含む 1 名以上参加</p>	

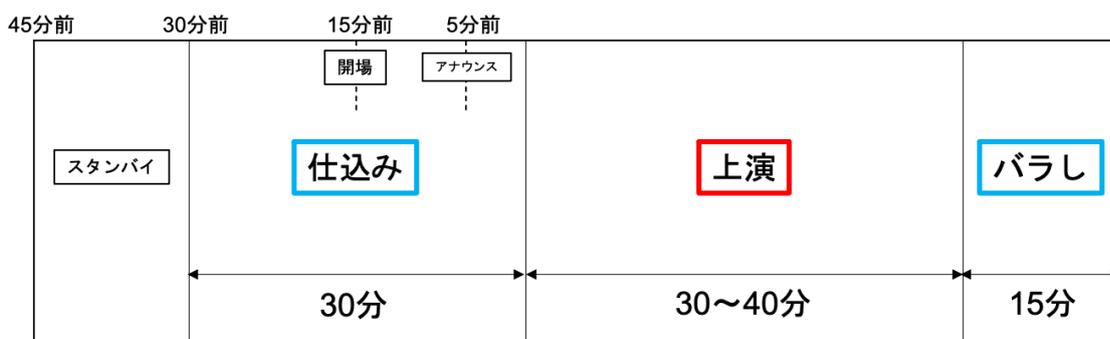
【3】 ルール

※ルールが守られなかった場合、審査の対象にならない可能性があります

1 出場にあたってのルール

- 1 本選に参加する俳優・スタッフは【テクリハ】【GP】【本番】の3日間すべて、必ず全員が参加すること。
- 2 テクリハ後の安全性に関わる演出の変更は不可（保険加入を必須とする場合がある）。
- 3 ゲネプロ後の演出の変更は不可。
- 4 特別な演出をする場合は総合舞台監督に必ず相談すること。
（以下過去の例より）
 - ・次の団体の上演に支障が出る演出は禁止。（スモーク、裸火、においの残るものなど）
 - ・水の使用は不可
 - ・上演中のバトンの昇降は不可
 - ・上演中の緞帳の開閉は可。ただしメモリー機能なし
- 5 上演作品について、以下の場合にはできる限り早くに劇場へ報告すること。
 - ・一定時間の暗転を行う場合
 - ・実際の事件・事故・災害を想起させる内容のある場合
 - ・性描写、暴力描写のある場合
 - ・その他視覚的・聴覚的に留意事項があると判断される場合内容によっては「観劇時の注意／トリガーアラート」を掲示します（ロビー及びホームページ）
- 6 終演後は現状復帰すること。
- 7 ゴミは各団体で持ち帰ること。
- 8 上演に際して必要な手続き（楽曲使用の著作権・著作隣接権の使用申請、原作使用の申請など）は各団体で行うこと。
- 9 上演作品で使用する楽曲は、情報をまとめ、劇場へメールで送ること。 **期日：5/15**

2 本番の流れ



3 上演ルール

① スタンバイ（開演 45 分前～）

- ・ 指定時間までは前団体の上演中のため、ホール内でのスタンバイは禁止
- ・ スタンバイ場所はテクニカルリハーサルで決定

② 仕込み（開演 30 分前）

- ・ 総合舞台監督の仕込み開始の合図により開始する

③ 開場（開演 15 分前）

- ・ 開場中に舞台上で仕込む場合は、必ず引割り緞帳を閉める
- ・ 前説・BGM など、開場中の演出は可。ただし審査対象は上演時間内のみ（審査員は開演直前に着席）
- ・ 開場中の演出は、必ずテクニカルリハーサルで総合舞台監督に見せること。内容によっては変更の可能性がある

④ 諸注意場内アナウンス（開演 5 分前）

- ・ 必ず、劇場が用意したアナウンス音源をスピーカーから流す

「本日は、第 15 回せんがわ劇場演劇コンクールにお越しいただき、誠にありがとうございます。ご来場のみなさまにご案内申し上げます。スマートフォン・時計のアラームなど、音の出る電子機器は、電源をお切りになるか、サイレントモードの設定をお願いいたします。会場内での許可のない撮影・録音は固くお断りいたします。客席内での飲食はご遠慮ください。上演中は、演出の都合により、非常灯・誘導灯を消灯いたします。地震や火災などの災害時には、非常灯・誘導灯を点灯し、係員が誘導いたしますので、ご着席のままお待ちください。それでは、第 15 回せんがわ劇場演劇コンクール第●ステージ【劇団名】【タイトル】、まもなく開演いたします。ロビーにおいでのお客様は、お早めにご着席ください」

※避難誘導灯は、開演 5 分前に劇場舞台スタッフが消灯する

⑤ 上演

- ・ 30 分以上 40 分以内の作品を上演する
- ・ タイムのスタートは「総合舞台監督キュー」、ストップは「緞帳の閉まりきり」
- ・ 開演より 40 分を超えた場合、審査員に通達し審査材料とする
- ・ 40 分を大きく超え、コンクール全体の進行に支障をきたすと総合舞台監督が判断した場合は、上演を途中で中止する可能性がある
- ・ 客席および通路の使用については相談必須（客席センターの階段通路の使用は不可）

⑥ 客出し

- ・ 必ず、劇場が用意した終演アナウンスの音源をスピーカーから流す
- ・ 客出し中の演出は一切不可とする。観客には速やかな退場を促す
- ・ 観客・関係者面会をホールやロビーで行うことは不可とする

⑦ 大道具・小道具

- ・ 備品リストにあるものに限り、劇場備品の使用可（参照：備品リスト）
- ・ 持ち込みの大道具と小道具はテクリハ後から劇場預け可。場所はテクリハ時に決定（スペースの都合上、制限あり）
- ・ 持ち込みの大道具と小道具を劇場へ郵送する場合は、5月20日以降に到着するよう手配すること（時間は9:00～17:00を指定。団体名を記載すること）
- ・ 劇場預けスペースの大きさは説明会時に確認すること

4 仕込み・テクニカルのルール

① テクニカルスタッフの手配

- ・ 舞台監督、音響、照明等のスタッフは各団体で必ず手配する
- ・ 舞台監督の兼任は不可
- ・ スタッフを兼任する場合は、最終打ち合わせ前に報告・相談する

② ヘルメットの着用

- ・ 仕込みおよびバラシでは、作業する全員がヘルメット着用必須（労働安全衛生法）
- ・ ヘルメットの劇場貸し出しは行わない。各人で準備すること

③ 高所作業

2 m以上の場所で高所作業を行う場合、必ず以下のものを所持すること。

- ・ フルハーネス型墜落静止用器具
- ・ フルハーネス特別教育修了証（受講証明書）

※9尺以上の脚立を使用する場合は該当する

※照明バトンは降下する（幕用のバトンは降下しない）

【4】 チケット取り扱い・広報

1 当日制作・運営スタッフ

- ・当日の運営は劇場スタッフが行う
- ・物販は不可
- ・遅れ客の対応は各団体の指示により劇場スタッフが行う（テクリハ時に確認）

2 チケット券種

●5 団体通しチケット

- ・会員 2,200 円
- ・一般 3,000 円
- ・応援チケット 5,000 円〈御礼…購入者氏名の館内掲示〉
- ・これからも応援チケット 10,000 円〈御礼…購入者氏名の館内掲示、第15回のグランプリ・オーディエンス賞受賞公演への招待〉

●1 団体チケット

- ・会員 500 円
- ・一般 700 円

※コンクール本番では、団体専用の関係者席を2席用意

※関係者席を利用できるのはコンクール本番の関係者のみ

※関係者席が不要の場合は【5/21まで】に申し出ること

※3名以上が本番を観劇したい場合は、一般の観客と同様にチケットを購入すること

3 チケット取扱

「チケットCHOFU」

- ・事前入金・事前発券制
- ・当日精算は対応不可
- ・団体ごとの販売なし
- ・全席指定席
- ・未就学児入場不可、小学生以上入場可

4 チケット発売日

5 団体通しチケット …会員・応援 3/19(水) 一般 3/26(水)
1 団体チケット …会員 4/17(木) 一般 4/24(木)

5 招待

調布 U18 劇評家

内容：上演 5 作品を観て、短い感想文を執筆。

対象：調布市在住・在学・在勤のいずれかで、演劇コンクール期間（5/24、25）に 5 団体上演作品をすべて見られる人 ※2025 年 5 月 25 日時点で 18 歳以下の人

定員：3 人 ※応募者多数の場合は選考あり

募集期間：3/8(土)～4/6(日)

6 ゲネ・本番での撮影

- ・劇場カメラにより、各団体の出場作の映像撮影を行う。撮影した映像はせんがわ劇場の広報に使用するほか、各団体に配付する ※外部活動で映像を使用する場合は必ず報告すること
 - ・ゲネプロ時、劇場カメラマンによる写真撮影を行う。撮影した写真はせんがわ劇場の広報に使用するほか、各団体に配付する
 - ・各団体で記録写真・映像を撮影する場合は、ゲネプロ時に行うこと。ただし、劇場公式の写真撮影・映像撮影を妨げないこと
- ※コンクール終了後に財団 YouTube アカウントで、出場作のアーカイブ配信（期間限定・無料）の実施を予定

7 表彰式・講評映像のライブ配信

財団 YouTube アカウントから無料配信を行う。

8 広報

- ① ホームページ
 - ・コンクールホームページは 2/1 公開済み
 - ・「News」で新着情報をまとめる

② SNS - インスタグラム

- ・団体動画(縦動画メイン)を掲載
過去作品映像 (10 秒程度に編集)、メッセージ映像 など
- ・第 15 回コンクールプロモーション映像(縦動画)を掲載。ストーリーズ広告実施予定
- ・コンクール情報を都度公開・更新

③ SNS - X (旧 twitter)

- ・団体情報 (テキスト・画像メイン) を掲載
- ・コンクール情報を都度公開・更新

***以下の劇場SNSアカウントを、コンクール終了までフォローしてください**



***劇場が広報で紹介して良い団体アカウント (X・インスタグラム) を教えてください**

***コンクール関係の情報拡散にぜひご協力ください**

④ チラシ

- ・説明会終了後配布予定
- ・調布市内施設、都内公立劇場を中心に配架

*折り込み可能の公演がある場合は、部数・公演日を連絡すること

*コンクールパンフレットへのチラシ折り込み可能 (500 部を予定)。事前に部数・折り込みする人数・チラシの情報を連絡すること。テクリハ (5/21・22) の前後で、各自で折り込みを行う

【5】表彰式・講評

※コンクール出場団体参加必須

【内容】

各賞の発表と、全専門審査員が全てのコンクール出場団体について講評を行う。

【開催日時】

2025年5月25日(日) 15:30～17:00 @せんがわ劇場ホール

【参加者】

コンクール出場団体、専門審査員、公募審査員

※Youtube で生配信を行う

【6】アフターディスカッション

※コンクール出場団体参加必須

【目標】

せんがわ劇場演劇コンクールにおける演劇作品の面白さと理解を共有し、演劇全体に対する一層の興味を上げ、認識を深める。

さまざまな感想、意見を交換して、異なる立場、感覚、感性を知るとともに、上演作品や演劇への理解・認識を深める意見交換の場に発展させていく。

【内容】

コンクール出場団体、専門審査員、公募審査員が参加し、各団体の作品についてディスカッションを行う。団体担当スタッフがファシリテートする。

【開催日時】

2025年5月25日(日) 17:30～19:00

会場：せんがわ劇場内各所

【参加者】

専門審査員：各団体の部屋へ1名ずつ

公募審査員：各団体の部屋へ約3名ずつ

コンクール出場団体：各部屋へ1団体ずつ。各団体1名以上参加すること

【全体の流れ（予定）】

授賞式終了時に、アフターディスカッションの概要を司会から説明。今後の動きを共有する。

17:30 第一部開始

部屋ごとに進行。40分間自由な意見交換の場とする

18:10 第一部終了、休憩、移動

18:20 第二部開始

部屋ごとに進行。40分間自由な意見交換の場とする

19:00 第二部終了

19:10 全参加者、ふれあいの家（3階）へ集合

フィナーレ

せんがわ劇場館長あいさつ

各団体のファシリテーターより簡単な振り返り

コンクール企画監修あいさつ

せんがわ劇場芸術監督あいさつ

19:30 全体終了（お茶会は任意参加）

【7】 ハラスメント防止・その他

1 ハラスメント防止

主催者を含めた、演劇コンクールのすべての参加者が、安全かつ公平に過ごすために、ハラスメント防止について順守すべき事項を定める。

コンクール出場団体の代表者は、別紙「第15回せんがわ劇場演劇コンクール参加におけるハラスメント防止についての確認事項」に署名・提出すること。

2 その他

発熱を伴う体調不良者が出た場合は、速やかに医療機関で診察を受け、劇場に報告すること。
感染症（新型コロナ、インフルエンザなど）と診断され、感染拡大のおそれのある期間にテクリハが該当する場合は、感染者は参加不可とする（テクリハまでのスタッフ・キャストの変更は認める）。

全スタッフ・キャストが、テクリハ-ゲネプロ-コンクール本番すべてに参加できない場合、団体の出場を不可とする

【8】連絡・情報共有について

1 連絡先

- ・演劇コンクールの運営に関すること（テクニカル含む）
せんがわ劇場演劇コンクール運営実行委員 櫻井／深堀
- ・その他（広報・チケット）
せんがわ劇場制作係

2 連絡方法

slack

- ※資料「slack について」を参照
- 各団体から3名まで参加可能（連絡担当者）。

メール

- せんがわ劇場運営実行委員メールアドレス **sengawatheater@gmail.com**
- ※件名に「団体名」を入れてください

電話（緊急時のみ）

- せんがわ劇場電話番号（9時～19時） **03-3300-0611**
- 当日の遅刻など、緊急の連絡は必ず電話連絡すること。

※テクニカルの質問は舞台技術スタッフへ確認する必要があるため、時間を要する場合がある
※質問と回答は、条件を平等に保つため、第15回コンクールへ出場する全ての団体へ共有する

3 資料の格納先

- ・最新の資料は、
【出場団体用】第15回演コンフォルダ（Googleドライブ）
に格納します。団体内で共有してください。



▲読み取ってください



公益
財団
法人 | 調布市文化・コミュニティ振興財団
Foundation for the promotion of Chofu city's culture and community

〒182-0002 東京都調布市仙川町 1-21-5

sgekijou@chofu-culture-community.org

受付時間：9:00～19:00

休館日：毎月第3月曜日（祝日の場合翌平日）

財団ホームページ <https://www.chofu-culture-community.org/>